

### 3. 川平方言語彙集

セリック・ケナン 麻生玲子 中澤光平 中川奈津子

(国立国語研究所)

#### 1. 川平方言

川平方言は、石垣市の北西部(市街地から北西約18キロ)に位置する川平地域で伝統的に話されている方言である。ローレンス(2000)およびPellard(2015)によれば、川平方言は系統的に南琉球広域八重山諸語の中の八重山語に属し、同じく石垣市で話されている四箇方言や大浜方言と近いとされている(図1)。

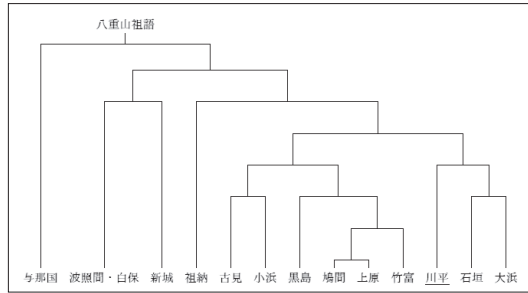


図1 八重山諸語の系統関係(ローレンス(2000)に基づき著者らが作成)

#### 2. 音声・音韻特徴

川平方言の音韻体系については、未解明な点が多い。従って、本語彙集では著者らが観察できた範囲で音声・音韻特徴を簡単に述べ、記載の方針を記すにとどめる。

[ɸ]と[f]の発音がどちらも観察される。現時点では対立はないと考え、本語彙集では[f]に統一した。また、「食べる」を意味する語において[f]と[h]の発音の揺れが観察された。

- ① a. [ɸuruja:] 「便所」 ([furuja:]と表記)
- b. [fɯju] 「冬」
- c. [fɯnifu] ~ [fɯniɸu] 「蜜柑」 ([fɯnifu]と表記)
- d. [fa:nu] ~ [ha:nu] 「食べない」

破擦歯茎有声子音[dz]と摩擦歯茎有声子音[z]の対立がある。音声表記では書き分けたが、仮名表記ではこの対立を表わす適切な手段がないため、この区別を書き分けず、両方の子音に同じ「ざ行」の仮名を当てた。

- ② a. [ŋgadza] 「ムカデ」 (「んがざ」と表記)
- b. [kudzɯ] 「去年」 (「くず」と表記)
- c. [izarirun] 「叱られる」 (「いざりるん」と表記)
- d. [izu] 「魚」 (「いず」と表記)

CVCV(...)という構造の語において、語頭が無声阻害音 ([p, t, k, f, s, h, ts, tʃ]) の場合、それに後続する母音は無声化する。

- ③ a. [k̚ani] 「金」
- b. [k̚ɯri] 「これ」
- c. [k̚ama] 「あそこ」

語頭以外でも、無声阻害音の直後で母音が無声化することがある。特に、前の音節の母音が無声化していない時に語中の母音が無声化しやすいが、無声化母音が連続することもあり、一概には言えない。また、語頭でも母音が無声化しないこともある。

- ④ a. [mats̚inu ki:] 「松の木」
- b. [ni:]k̚ad̚ʒi] 「北風」
- c. [f̚us̚ima] 「黒島」
- d. [k̚ats̚ima] 「裏返しに着ること」

無声化した母音に後続する鼻音 ([m, n]) あるいは流音 ([r]) は無声化する傾向がある。ただし、無声化の程度は同じ八重山の波照間方言や白保方言で観察されるものに比べ弱いため、無声化記号を記載していない。例えば⑤では、前者 [p̥ini] に統一する。

⑤ [p̥ini] (~ [p̥ini]) 「髭」

無声摩擦音の後に母音があるのかないのか、音的に判断できない場合がある。例えば⑥では、[s] の直後に無声化した母音があるともないとも判断し難い。本語彙集では、一貫して母音を想定した。

⑥ [s̥ita] (~ [sta]) 「舌」

[r] が長めのふるえ音で発音され、直後の母音が聞こえないことがある。しかし丁寧な発音では母音 [i] が聞こえるので、この語彙集では一貫して母音 [i] を想定した。例えば⑦では前者に統一する。

⑦ [p̥ikari] (~ [p̥ikar]) 「光」

[s] あるいは [f] が長く聞こえる場合には、間に母音を想定せず、[ss] あるいは [ff] と記載した。

⑧ a. [ssai] 「白髪」

b. [h̥affui] 「欠伸」

母音と後続する無声子音の間にしばしば摩擦音のような音が聞かれることがある。現段階では無声子音の音声的な前気音 (プレアスピレーション) と考え、音韻的なものではないと仮に想定した。

⑨ a. [s̥atta:] ~ [s̥a'tta:] 「砂糖」

b. [mit̥ʃa] ~ [mi't̥ʃa] 「不味い」

c. [rukunĩ] ~ [ru'kunĩ] 「六人」

ただし、一部で前気音に由来すると考えられる摩擦音が音韻化している例もある。

- ⑩ a. [misɨ̥tari] 「三人」
- b. [jufɨ̥kui] 「休息」

形態音韻論的な特徴として、主題を表す助詞[ja]「～は」が前の語と融合することがある。主題形については次のようにまとめられる。

- ⑪ a. [i] + [ja] → [e:]      例：[umuti] → [umute:] 「顔は」
- b. [i] + [ja] → [ɔ:]      例：[mukasi] → [mukasɔ:] 「昔は」
- c. [u] + [ja] → [o:]      例：[hɔtu] → [hɔto:] 「後は」
- d. [a] + [ja] → [a:]      例：[kɯma] → [kɯma:] 「ここは」
- e. [ɲ] + [ja] → [ɲɲa]    例：[jan] → [jaɲɲa] 「病気は」

長母音の後では[ja]は融合しない(例：[kju:ja]「今日は」)。なお、[ri]に終わる語の場合も融合が起こらない(例：[sikirija]「ナマコは」)。

現在の川平方言において、単純名詞におけるアクセントの対立を明確に確認することはできなかった。一方で、一部の複合語においてアクセントが対立すると考えられる語が見つかった。図2に、[bigio:]「雄豚」と[mi:ɔ:]「雌豚」の例を示す。図中の矢印は、対立していると考えられるピッチの特徴を示す。従って、現在の川平方言では少なくとも二種類のアクセント型が対立する可能性がある。

本語彙集の調査は語の単独発話をもとにしているため、今後、文節あるいは複合語等の環境での調査により、アクセント対立の有無、および対立がある

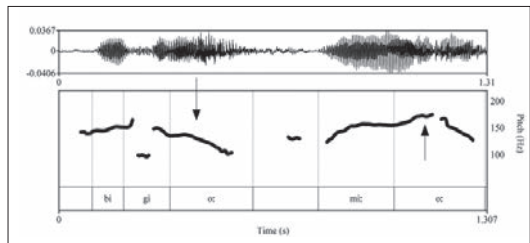


図2 [bigio:]「雄豚」と[mi:ɔ:]「雌豚」のF0曲線(大底英正氏の発音)

場合にはアクセント体系が明らかになる可能性がある。アクセントについては今後の課題とし、本語彙集ではアクセントに関する情報を掲載しない。

## 参考文献

- 平山輝男・中本正智(1964)『琉球与那国方言の研究』東京堂、東京。
- 外間守善・屋比久浩・中本正智・内間直仁・加治工真市・野原三義(1975)「八重山石垣島川平方言」『琉球の方言』1, 1-102.
- 川平公民館(編)(1976)『川平村の歴史』川平公民館、沖縄。
- ローレンスウェイン(2000)「八重山方言の区画について」石垣繁(編)『宮良當壯記念論集』宮良當莊生誕百年記念事業期成会、沖縄、547-559.
- 中松竹雄(編)(1987)『琉球方言辞典』那覇出版、沖縄。
- 日本放送協会(編)(1981)『全国方言資料第11巻琉球編II』日本放送協会、東京。
- 西岡敏(2000)「石垣島北部方言の体言基礎語彙」『琉球の方言』24, 37-56.
- Pellard, T. (2015). The linguistic archeology of the Ryukyu Islands. In P. Heinrich, S. Miyara, & M. Shimoji (Eds.), Handbook of the Ryukyuan languages. Berlin: Mouton de Gruyter. 13-37.

## 凡例

本語彙集は著者らが2019年6月から10月にかけて調査した語彙と、旧村史である川平公民館(1976)の語彙を合わせたものである。旧村史からの語彙は、実際に調査したものと区別するために項目の末尾に\*を付け、著者らが調査した語彙項目と表記を統一するために片仮名を平仮名に変更した。旧村史と同じ(あるいは近似した)語形が本調査で得られた場合、調査結果を優先している。語彙項目は、全体を通して村史編纂委員

表1 品詞略号一覧

品詞	略号	語数
名詞	名	720
動詞	動	47
形容詞	形	96
副詞	副	6
句	句	7
助詞	助詞	7
感嘆詞	感	1

会に確認および修正を依頼し、指摘していただいた点を反映させたが、いくつかの点に関しては著者らの調査結果を優先した。調査結果と修正の指摘部分の違いに関しては、話者の年代の違いによるものと考えられる。今後の課題とする。

本語彙リストは、語彙の平仮名表記、[ ] 内に示す国際音声字母 (International Phonetic Alphabet; IPA) 表記、【 】内に示す品詞、意味表記からなる。品詞の一覧は表 1 のとおりである。各語彙の品詞には略号を用いた。複数の形態素から成るが単純語とみなしたい語は、句ではなく「名詞」や「動詞」とした。

川平方言話者と調査者は次のとおりである。

川平方言話者(五十音順)

大底 英正氏(昭和 3 年生)

大仲 進氏(昭和 9 年生)

南風野 喜一氏(昭和 4 年生)

調査者(五十音順)

麻生 玲子

セリック・ケナン

中川 奈津子

中澤光平

本研究は、川平公民館の支援および新学術領域研究(研究領域提案型)「南琉球八重山諸語における伝播過程の解明と言語系統樹の構築」(研究代表者: 国立国語研究所 麻生玲子; 科研費番号: 19H05353) による助成を受けた研究成果の一部である。なお、調査研究者を探すにあたって高嶺善伸公民館長を紹介して下さった下地誠吉氏と与那覇寛光氏に感謝を申し上げる。

表2 仮名・発音記号一覧

あ	い	い	う	え	いえ	お				
a	i	i	u	e	e	o				
か	き	き	く	け	きえ	こ	きゃ	きゅ	きよ	くわ
ka	ki	ki	ku	ke	ke	ko	kja	kju	kjo	kwa
が	ぎ	ぎ	ぐ	げ	ぎえ	ご	ぎゃ	ぎゅ	ぎよ	
ga	gi	gi	gu	ge	ge	go	gja	gju	gjo	
さ		す	す	せ	すえ	そ	しゃ	し	しゅ	しよ
sa		si	su	se	se	so	ja	ji	ju	je
ざ		ず	ず	ぜ	ずえ	ぞ	じゃ	じ	じゅ	じよ
(d)za		dzi	(d)zu	(d)ze	dze	(d)zo	dja	dji	dju	dje
た	て		とう	て		と				
ta	ti		tu	te		to				
だ	で		どう	で		ど				
da	di		du	de		do				
つあ		つ	つ	つえ	つえ	つお	ちゃ	ち	ちゅ	ちよ
tsa		tsi	tsu	te	te	to	tja	ti	tu	te
な	に		ぬ	ね		の	にゃ	にゅ	によ	
na	ni		nu	ne		no	nja	nu	no	
は	ひ		ほう	へ		ほ	ひゃ	ひゅ	ひよ	
ha	hi		hu	he		ho	hja	hju	hjo	
ば	び	び	ぶ	べ	びえ	ぼ				
ba	bi	bi	bu	be	be	bo				
ぱ	ぴ	ぴ	ぷ	ぺ	ぴえ	ぽ	ぴゃ	ぴゅ	ぴよ	
pa	pi	pi	pu	pe	pe	po	pja	pju	pjo	
ふあ	ふ		ふ	ふえ		ふお				
fa	fi		fu	fe		fo				
ヴあ	ヴ		ヴ	ヴえ		ヴお				
va	vi		vu	ve		vo				
ま	み	み	む	め	みえ	も				
ma	mi	mi	mu	me	me	mo				
や			ゆ	いえ		よ				
ja			ju	je		jo				
ら	り	り	る	れ	りえ	ろ	りゃ	りゅ	りよ	
ra	ri	ri	ru	re	re	ro	rja	rju	rjo	
わ	う		を	ん		—			っ	
wa	ri		wu	n ~ ɲ ~ ɳ ~ N		:			子音を重ねる	

## 川平方言 語彙集

ああ\* [名] 粟。

あーさ [a:sa] [名] あおさ。ヒトエグサ。

〔例〕 きゅーや あーさ とうん  
な ばら(今日はあおさを取りに  
行こう)。

あーりい [a:ri] [名] 東。

あーりいかじ [a:rikaʃi] [名] 東風。

あーりいさ [a:risa] [形] 荒い。粗い。

あい [ai] [名] 喧嘩。

あいく\* [名] 担い棒。

あいちきい\* [名] 木で造ったげんのう。

あいなま [ainama] [名] 妻。

あいなまよい [ainamajoi] [名] 結婚  
祝い。

あうさー [ausa:] [形] 青い。〔例〕 う  
ぬ とうり あうさー(あの鳥は  
青い)。あういる(青色)。

あうだ [auda] [名] もっこ。藁縄で編  
んだ運搬用具。

あうだ [auda] [名] 蛙。

あうどげりい [audugeri] [名] 猫の  
発情期の鳴き声。

あうばとう [aubatu] [名] 鳩の一種。  
緑色の濃い鳥。

あうんたーり [aunta:ri] [形] 青い。〔例〕  
きゅーや あうていん(今日は青  
空)。あうんたーりゃー(青い)。

あが [aga] [名] お出来。

あぎ [agi] [名] 陸。陸地。

あぐ [agu] [名] 顎。

あだーすん [ada:sun] [動] 叱る。

あだんぶら [adambura] [名] アダン。

あだんぶらーぬふきい\* [名] あだん  
の若芽。

あつあー [atsa:] [形] 暑い。熱い。〔例〕  
きゅーや あつあー(今日は暑  
い)。あつあー ねーのー(暑くな  
い)。

あつい [atsi] [名] 味。〔例〕 あついん  
どう ねーん(味が無い)。

あついまさー [atsi masa:] [形] 甘い。  
〔例〕 くわーす あついまさー(菓  
子は甘い)。

あつあー [atsa:] [形] 厚い。

あなぶるや\* [名] 掘立小屋。

あばさあ\* [名] 針千本。

あばさー [abasa:] [名] おしゃべり。

あひゃーおー [ahja:o:] [名] 繁殖用の  
雌豚。たくさん子どもを産む女性  
にも言う。

あぶ [abu] [名] 穴。〔例〕 やーぬ く  
びだ あぶ ふぎどうろ(家の壁  
は穴が開いている)。

あぶすい [abusui] [名] あげ道。〔例〕  
あぶすいんどう しばさるどー  
(あげ道が狭いよ)。

あぶふぎ [abufugi] [動] 穴が開く。

あぼーま [abo:ma] [名] (小さな)穴。

あまさ [amasa] [形] 甘い。

あまさー [amasa:] [形] 味が薄い。〔例〕  
うぬ すろー あまさー(この汁  
は薄い。(甘い。塩味が無い))。

あまんたー\* [名] 海辺の岩に引っ付  
いている丸い貝。

あみほーりい [amiho:ri] [名] 虹。

あよー [ajo:] [名] 古謡の一種。

あらぐすいく [aragusiku] [名] 新城。

あるん [arun] [動] ある。〔例〕 つい  
み あるん(沢山ある)。

あわ [awa] [名] 油。〔例〕 くなーや あ  
わ かーし うらぬ(ここには油  
を売っていない)。

あわずうし\* [名] まぜ飯。

あんた [anta] [名] 東。東側。

あんだぶらぬ なりい [andaburanu nari]  
[名] アダンの実。



- あんつく\*【名】あだなし縄で編んだ物入れ。
- あんばい[ambai]【名】味見。〔例〕あんばい すんどー(味見するよ)。
- あんむぬ\*【名】屋根の頂上をおう竹であんだもの。
- いー [i:]【名】柄。
- いー\*【名】御飯。
- いーるん[i:run]【動】得る。もらう。いただく。
- いざりるん[izarirun]【動】叱られる。
- いしい\*【名】つのまた。
- いず[izu]【名】魚。〔例〕いず きつ すんどー(魚を切るよ)。
- いちがつい [içigatsi]【名】一月。
- いちふ[içifu]【名】いとこ。
- いっぴりい [ippiri]【名】川海老。テナガエビ。
- いなー [ina:]【名】海。〔例〕いなーへどう ぱりい(海に行く)。いなーへ ぱら(海に行こう)。
- いなついきい [inatsi\_ki]【名】杵。
- いなばかりい\*【名】一升舂。
- いのかじ[ino:kaçi]【名】竜巻。
- いばさ[ibasa]【形】狭い。〔例〕いばさぬ きらるぬ(きつくて着られない)。
- いびい [ipi]【名】(海にいる)海老。イセエビ。〔例〕いびえー みるの(イセエビは見えない)。
- いみ[imi]【名】夢。〔例〕はこさるいみどう みーだ(怖い夢を見た)。
- いみていりい\*【名】芋にぎり。飯等入れるくずや竹で造ったかご。
- いめん[imen]【副】少し。ちょっと。〔例〕いめーん ゆーじう しーしていくーらー(少し用事をしてくるね)。きゅーや いめん びーしゃんさー(今日は少し寒いね)。
- いらぶねー\*【名】えらぶうなぎ。
- いりい [iri]【名】錐。
- いりい [iri]【名】西。
- いりいかじ[irikaçi]【名】西風。
- いりいむてい [irimuti]【名】西表。
- いる[iru]【名】色。〔例〕くぬ くびだなーや のーしる いるどう つかいやー(この壁には何の色を使おうか)。
- いるこーしい\*【名】茅葺屋根の頂上にさす木。
- いん\*【名】縁側。
- いん[in]【名】犬。
- うい[ui]【名】上。〔例〕ういなー のーんどう ありゃー(上に何がある?)。
- うい[ui]【形】年を取っている。〔例〕うぬ びいと うい ふ そーらー(あの人は年を取っているね)。まな わや うい ふ そーらー(もう自分は年を取ったね)。
- ういな・したな\*【句】上に・下に。
- ういびいとう [uipi\_tu]【名】老人。
- うーざら[u:çara]【名】大皿。
- うーていつい [u:ti\_tsi]【名】ハンマー。
- うがすん[ugasun]【動】動かす。〔例〕どうー うがしえー(体を動かせ)。
- うぎ[ugi]【動】動く。
- うざ[udza]【名】鶉(うずら)。
- うつつう [uttsu]【名】布団。
- うっぴい [uppi]【名】帯。〔例〕くぬ うびえー ひつかさ(この帯は短い)。
- うでい [udi]【名】腕。〔例〕うでいぬなーさー(腕が長い)。
- うなー [una:]【句】ここに。
- うない[unai]【名】鰻(うなぎ)。
- うび[ubi]【名】指。〔例〕うびば ばさまりたーさー(指が挟まれた)。
- うびるん[ubirun]【動】植える。〔例〕ばたぎな うびれー(畑に植え

ろ)。  
 うま[uma]【名】ここ。そこ。〔例〕う  
 まな うれ(ここにいなさい)。  
 うまぬ まーりい[umanu ma:ri]【名】  
 ここの周辺。この辺。  
 うみ[umi]【名】膿。  
 うむくとう[umuku.tu]【名】機転。  
 うむさー[umusa:]【形】面白い〔例〕  
 うむさー そーらー(面白い  
 ねえ)。きゅーや うむさ ねー  
 ぬ(今日は面白くない)。  
 うむてい[umuti]【名】顔。〔例〕わー  
 うむてー かいしゃー(君の顔は  
 きれいだ)。  
 うやき[ujaki]【形】富裕。〔例〕うや  
 き ぴいと(お金持ちの人)。  
 うやく[ujaku]【名】親戚。  
 うやんちゆ[ujanču]【名】ネズミ。  
 うら-うむてい[ura-umuti]【名】裏表。  
 うり[uri]【名】それ。  
 うるずいん[urudzün]【名】旧3月頃。  
 うるつし[urufši]【名】珊瑚礁。  
 うん[un]【名】鬼。〔例〕うんにや  
 はこさの(鬼は恐ろしい)。  
 うんない\*【名】川うなぎ。  
 えん[en]【名】来年。  
 えんどうすい[endusi]【名】来年。  
 おー[o:]【名】豚。  
 おーぬ にく[o:nu niku]【名】豚の肉。  
 おーぬ やー[o:nu ja:]【名】豚の家。  
 おーばい[o:bai]【名】金鯱。  
 おーまさ[o:masa]【形】きつい。苦しい。  
 〔例〕きいのー どうーだらさー  
 おーまさだつたさー(昨日体がだ  
 るくてきつかった)。  
 おつふあー だつかー[offa: dakka:]  
 【形】緩い。〔例〕かれー きる  
 じゅばんや おつふあー だつ  
 かー しーすよー(あの人が着て  
 いる襦袢はだぶだぶだね)。  
 おやま[o:jama]【名】(人の)写る影。

かー[ka:]【名】井戸。〔例〕かーはら  
 みつい ふむん(井戸から水を汲  
 む)。  
 があぐ\*【名】柄のある太いきね。  
 がーさみ[ga:sami]【名】蟹の一種。  
 マングローブの根っこに穴を掘っ  
 てそこに生息している。魚を籠に  
 入れておびき寄せて取り上げる。  
 美味しい。  
 かーら[ka:ra]【名】瓦。〔例〕かーら  
 ふとうし ねーのー(瓦を落とし  
 てしまった)。  
 かーらやー[ka:raja:]【名】瓦葺きの  
 家。  
 かーりやー[ka:rija:]【名】瓦葺きの  
 家。  
 かーりやぬ とぅんなま[ka:rijanu  
 tunnama]【名】雀(すずめ)。「瓦  
 葺きの家の小型鳥」。  
 かーんがん[ka:ngan]【名】鏡。  
 かい[kai]【名】お粥。  
 かい[kai]【名】陰。  
 かいしゃー[kaiša:]【形】清潔。きれ  
 い。美しい。〔例〕やーなか か  
 いしゃー そーらー(家の中きれ  
 いだね)。  
 かきい[ka.ki]【名】垣。  
 かくつい[ka.kutsi]【名】顎まわり。  
 かざ[kadza]【名】匂い。〔例〕くれ のー  
 ぬ かざ りゃー(これは何の匂  
 いなの?)。  
 かさまさ[ka.samasa]【形】(騒音が)  
 うるさい。〔例〕かさまさーりき  
 やみりー(子供がじゃれてきてや  
 かましいからやめろ)。かさま  
 さーりき かまへ ばれー(子供  
 がじゃれてきて) やかましいから  
 あっち行け)。  
 かしがーふくる[kafiga:fu.kuru]【名】  
 麻袋。〔例〕かしがーなどう ま  
 い いり うろ(麻袋に米を入れ

る)。  
**かすん**[ka:sun]【動】貸す。〔例〕しゅむつい かすん(本を貸す)。かしえー(貸せ)。  
**かた**[ka.ta]【名】型。〔例〕ぶどうりいぬ かた なーろーん(踊りの型を習う)。  
**かた**[ka.ta]【名】肩。〔例〕かたんどうこーりさー(肩が凝っている)。  
**かた**[ka.ta]【名】飛蝗(ばった)。  
**かだ**[kadaga]【名】物陰。日陰。  
**かたつ**[ka.tatsi]【名】形。〔例〕うぬ くむ みーれー。いずぬかたつ ーしーふそー(あの雲を見ろ。魚の形をしているよ)。  
**かつあ**[ka.tsa]【名】蚊帳。〔例〕かつあぬ なかな ぬふん(蚊帳の中で眠る)。  
**がついばね**ー [gatsi.pane:]【名】ガジマル。  
**かついま**[katsi.ma]【名】裏返しに着ること。〔例〕かついましーどうきーろー(裏返しに着ている)。  
**かつー** [ka.tsu:]【名】鯉。  
**かつーぶすい** [ka.tsu:busi]【名】鯉節。  
**がっき** [gakki]【名】鎌。  
**かていむぬ\***【名】おかず。  
**かどう** [kadu]【名】角(かど)。  
**かないふちいぶい\***【名】麻、芭蕉で織った太い風呂。祝辞等に使用する。  
**かなむぬふたている\***【名】魚、肉等を入れるかご。  
**かに**[ka.ni]【名】金(かね)。金属。  
**かにどま**[ka.nidoma]【名】トンボ。  
**かにば**[ka.nipa]【名】(鉄製の)鋏。  
**かのうしい\***【名】芋掘用金具。  
**がば**[gaba]【名】垢。〔例〕がば ふとうすいん(垢を落とす)。  
**かばさー** [kabasa:]【形】良い匂い。〔例〕かばさー そーらー(いい匂いだね)。

**がばら**[gabara]【名】ハンマー。  
**かぴい** [kapi]【名】紙。  
**かぴい** [ka.pi]【動】嗅ぐ。  
**かびら**[kabira]【名】川平。  
**かぶちや\***【名】南瓜。  
**かま**[ka.ma]【名】あそこ。  
**かまーら**[ka.ma:ra]【名】囲炉裏。  
**かまどう** [ka.madu]【名】釜。  
**かまぬ まーりい** [ka.manu.ma:ri]【名】あそこの周辺。あの辺。  
**かまんだ\***【名】えい。  
**かまんだ**[ka.manta]【名】あそこ側。  
**かみ\***【名】海亀。  
**かみ**[ka.mi]【名】瓶。  
**がややー** [gajaja:]【名】茅葺きの家。  
**がらすいぬ ばん**[garasi.nu.pan]【名】ヒトデ。  
**かり**[kari]【名】あれ。  
**かるさ**[ka.rusa]【形】軽い。〔例〕くぬ いぞー かるさー(この魚は軽いね)。くぬ いぞー かるさーそーらー(この魚は軽いね)。  
**かん**[kan]【名】蟹。  
**がんずさ**[ganzusa]【形】強い。元気。〔例〕かれー がんずさーそー(彼は強いね)。わや がんずさー(君は元気だ)。  
**かんぴゅう\***【名】大根や人参等を乾燥した切干。  
**がんぶら**[gambura]【名】野苺の一種。キイチゴ。  
**きー**[ki:]【名】毛。  
**きいぬ**[kinu]【名】昨日。  
**きいぬむぬ\***【名】日中の三食を言う。  
**きいぶぐ\***【名】茅をおさえ縄でしめる木、竹。  
**きいむ**[ki.mu]【名】肝臓。〔例〕とうるぬ きいむぬ まっさそーらー(鳥の肝が美味しいね)。  
**きいりいだいぐん\***【名】人参。  
**きいん\***【名】黍(きび)。

- きいん[kin]【名】着物。〔例〕むかせー  
きいんたんがーどう きー ふた  
(昔は着物ばかりを着ていた)。
- きいんたーりい [ki\_n̄ta:ri]【形】黄  
色い。〔例〕きいんまーりい(黄色)。
- きいんついとま\*【名】ひえと米を  
芭蕉の葉で包んで蒸したもの。
- きいんぬ あや[kinnu aja]【名】着  
物の模様。
- きいんまーりい [ki\_m̄ma:ri]【形】黄  
色い。
- ぎざ[giza]【名】シャコガイ。
- きじ[kidi]【動】(鯉などを)削る。
- きじ[kidi]【動】髪を梳く。
- きしりい [ki\_ʃiri]【名】煙管。〔例〕  
きしりいしーどう たばぐ ふき  
うろ(煙管で煙草を吸っている)。
- ぎすいか ぎすいか[gisika gisika]  
【感】地震が来るときに唱えるお  
まじない。
- きだき[kidaki]【名】黒木。この木の  
芯で三味線の竿を作る。
- きつい [ki\_ʃi]【名】垂木。
- きふあとうー [kifatu:]【名】川平湾。
- きふさ [ki\_fu\_sa]【形】煙い。〔例〕  
きふさーるさー(煙いね)。
- きゅー [kju:]【名】今日。
- くい[kui]【名】声。〔例〕くいんどう  
んどうん(声が出ない)。
- くー [ku:]【名】九(ここの)。九つ。  
数え上げる時に使う。
- くー [ku:]【名】粉。
- くうず\*【名】唐辛子。
- ぐぐ[gugu]【副】極。すごく。〔例〕  
ぐぐ はっつあ(とても暑い)。
- くくる[ku\_kuru]【名】心。〔例〕うぬ  
びいとぬ くくろー じょー  
とー あらの(この人の心はよく  
ない)。
- くざら[kudzara]【名】小皿。
- ぐさん[gusan]【名】杖。
- ぐし[guʃi]【名】酒。〔例〕ぐしたんがー  
どう ぬみーろー(酒ばかりを  
飲んでいる)。
- ぐじゅぐさ[guʃugusa]【形】くすぐ  
たい。〔例〕ぐじゅぐさん(くすぐ  
たい)。
- くず[kudzu]【名】去年。
- くすい[ku\_ʃi]【名】腰。背中。〔例〕  
くすいんどう やん(背中が痛  
い)。
- ぐすいく[gusi\_ku]【名】石垣。屋敷  
の周囲をかこった石垣。
- くつつあー [ku\_tsa:]【形】きつい。苦  
しい。〔例〕どうーだるさー くっ  
つあー(体がだるい。苦しい)。きい  
のー くつつあーたさー(昨日苦  
しかったよ)。
- くとうすい[ku\_tusi]【名】今年。
- くとうば[ku\_tuba]【名】言葉。
- ぐにん[gunin]【名】五人。
- くば[kuba]【名】びろう樹。
- くばぬ なりい [kubanu nari]【名】  
クバの実。びろう樹の実。
- くばぬ むとう [kubanu mutu]【名】  
びろう樹の木。
- くばむとう [kubamutu]【名】びろう樹  
の木。
- くびだ[kubida]【名】茅で作った戸。
- くぶろーま\*【名】海の浅瀬にいる細長  
い貝。
- くま[ku\_ma]【名】ここ。
- ぐま[guma]【名】胡麻。
- くまさ[ku\_masa]【形】細い。
- ぐまさー [gumasa:]【形】小さい。
- くまぬ まーりい [ku\_manu ma:ri]  
【名】ここの周辺。この辺。
- くむ[ku\_mu]【名】蜘蛛。
- くもーま[ku\_mo:ma]【名】小浜。
- くゆん[ku\_jun]【名】暦。
- くり[ku\_ri]【名】これ。
- ぐるしゃ [guruʃa]【形】～しにくい。

- 〔例〕 あん ぐるしゃ(言いにく  
い)。かきいん ぐるしゃ(書きに  
くい)。
- くわーき[kwa:ki]【名】桑の木。
- くわーきぬ なりい[kwa:kinu nari]  
【名】桑の実。
- くわーさ[kwa:sa]【名】笠。くばがさ。  
〔例〕くわーさどう かういろ(笠  
を被っている)。
- くわーすい[kwa:si]【名】菓子。〔例〕  
くわすいなまー(菓子っこ)。
- くわーぬ ぱー[kwa:nu pa:]【名】桑  
の葉。
- くんがつい[kungatsi]【名】九月。
- ぐんがつい[gungatsi]【名】五月。
- くんじょーふくり[kunjo:fu,kuri]  
【動】怒る。
- くんどう[kundu]【名】今度。
- ぐんぼう\*【名】牛蒡。
- げーさ[ge:sa]【名】瓜の卵。
- ごうや\*【名】にが瓜。
- こーさ[ko:sa]【形】硬い。固い。〔例〕  
くぬ くわーすい こーさー  
そーらー(この菓子固いね)。
- こーつい[ko:tsi]【名】麴。
- ごーないず\*【名】ふぐ。
- さーぐ[sɑ:gu]【名】咳。〔例〕さーぐどう  
しーさー(咳をしている)。
- さーぶら[sɑ:bura]【名】法螺貝。
- さーふん\*【名】食器洗の焼物。
- さい\*【名】なます。
- さいく[saiuku]【名】大工。
- さかなばちい\*【名】平かで大きい焼  
き物皿。
- さかふい[sɑ:kafui]【名】しゃっくり。  
〔例〕ばな さかふいどう しー  
さー(私はしゃっくりしている)。
- さくるさ[sɑ:kurusa]【形】塩辛い。〔例〕  
さくるさぬー(塩辛いね)。
- さだぎ[sadagi]【名】さつき。
- ざっか[ɕakka]【名】トカゲ。
- さったー[sɑ:tta:]【名】砂糖。〔例〕  
さったー いりれ(砂糖を入れな  
さい)。
- さな[sɑ:na]【名】傘。雨傘。〔例〕さ  
な かをうん(傘を差す)。
- さない\*【名】ふんどし。
- さにしゃー[sɑ:nifɑ:]【形】嬉しい。
- さねーつい[sɑ:ne:tsi]【名】野イチゴ。
- さば[saba]【名】草履。〔例〕さば  
ふんどー(草履履くよ)。
- さばに[sabani]【名】(漁師の)船。
- さふな\*【名】ぼたん人参(長命草)。
- さふん\*【名】せつけん。
- さら[sɑ:ra]【名】皿。〔例〕さらばどう  
ぱり ねーん(皿を割ってしまっ  
た)。
- さるぬば[sarunupa]【名】申の方角。
- ざん\*【名】人魚(儒艮)。
- さんがつい[sɑngatsi]【名】三月。
- さんがりい[sɑngari]【名】坂。
- さんがりいみつい[sɑngarimitsi]【名】  
坂道。
- さんしん[sɑnʃin]【名】三線。三味線。
- さんしんびら\*【名】杓文字。
- さんたい\*【名】茅葺屋根の頂上の両  
側に使う。
- し[ʃi]【助詞】〜で。
- しいさぬ\*【句】知らぬ。
- しいたでい\*【名】醤油。
- しいんぱー\*【名】籾落機。
- しじ\*【名】礎石。
- した[ʃita]【名】板。
- したーじ\*【名】下着。
- しっぱりい\*【名】小便。
- しているん[ʃi:tirun]【動】捨てる。こ  
ぼす。〔例〕ふさりむぬ ありば  
しているんどー(腐っているもの  
があるので、捨てるよ)。してい  
れー(捨てる)。
- しばさ[ʃibasa]【形】狭い。
- じゅんがつい[ɕungatsi]【名】十月。

じょーずい [ɕo:ɕi] 【名】 上手。  
 じょーとー [ɕo:to:] 【形】 良い。  
     〔例〕 じょーとー すーらー(い  
         いねえ)。  
 しょんがー\* 【名】 生姜。  
 しょんがつい [ʃoŋgatsi] 【名】 正月。  
 しょんしょん [ʃoŋʃoŋ] 【名】 蝉。  
 しら\* 【名】 昔在来種の稲束を積んだ  
         丸い倉。  
 しら [ʃira] 【名】 産室。  
 じらば [ɕiraba] 【名】 ジラバ。古謡の  
         一種。  
 しわ [ʃiwa] 【名】 心配。  
 しわ すなー [ʃi\_wa su\_na:] 【句】 心  
         配をするな。大丈夫。〔例〕 しわ  
         すなー(心配するな(大丈夫))。  
 じん [ɕin] 【名】 銭。お金。  
 じん [ɕin] 【名】 膳。  
 しんぐ [ʃingu] 【名】 小刀。ナイフ。〔例〕  
         しんぐし たき きずん(ナイフ  
         で竹を削る)。  
 しんし [ʃinʃi] 【名】 先生。  
 しんた [ʃinta] 【名】 後ろ。〔例〕 わー  
         しんたな のーんどう ありやー  
         (君の後ろには何があるの?)。  
 ずいーばとう [ɕi:batu] 【名】 地鳩。  
         鳩の一種。  
 すいきい [si\_ki] 【名】 息。〔例〕 すい  
         きいあ あふきどうろー(呼吸が  
         荒い)。  
 すいきいに [si\_ki\_ni] 【名】 寝床。  
 すいすいけー [sisike:] 【名】 プヨ。  
 すいすいみり [sisimiri] 【動】 片付ける。  
 すいた [si\_ta] 【名】 舌。〔例〕 すいた  
         んどう やん(舌が痛い)。  
 すいたら [si\_tara] 【名】 下。  
 すいついんがつい [sitsingatsi] 【名】  
         七月。  
 すいつきいりい [sikkiri] 【名】 ナマ  
         コ。〔例〕 ばな すいきいりいや  
         はーぬ(私はナマコを食べない)。

すいとうむでい [si\_tumudi] 【名】 朝。  
 すいとうむでいふつい [si\_tumudifu\_tsi]  
         【名】 午前中。  
 すいなきい [si\_naki] 【名】 石垣(四ヶ  
         字)。  
 すいに [si\_ni] 【名】 脛。〔例〕 すいに  
         ばどう ぱり ねーん(脛を打っ  
         てしまった)。すいにばどう ふ  
         ち ねーん(脛を打ってしまっ  
         た)。  
 すいのりい [si\_nori] 【名】 もずく。〔例〕  
         むかすえー すいのーりいや はー  
         んた(昔はもずくを食べなかつ  
         た)。  
 すいぶりい [siburi] 【動】 絞る。  
 すいま [si\_ma] 【名】 相撲。  
 すいる [si\_ru] 【名】 汁。おつゆ。〔例〕  
         すいるどう ばがしろ(汁を煮て  
         いる)。  
 すいんがつい [singatsi] 【名】 四月。  
 ずー [ɕu:] 【名】 芯。  
 すーさー [su:sa:] 【形】 酸っぱい。  
         〔例〕 くぬ ふにふおー すー  
         さー そーらー(このシークワー  
         サー(柑橘類)酸っぱいね)。  
 すく [su\_ku] 【名】 底。  
 すくふ\* 【名】 帯。  
 ずしんぼん [ɕuʃimpon] 【名】 雑炊。  
 すっくい\* 【名】 麻、芭蕉等をつむい  
         だ糸入れの木箱。  
 すでい [sudi] 【名】 袖。〔例〕 すでい  
         んどう なーさーりい(袖が長  
         い)。  
 すば [suba] 【名】 側。〔例〕 わー す  
         ばな びしてい すば ふあー  
         らー(君の側に座って蕎麦を食べ  
         よう)。  
 すびいねーさー [su\_pi\_ne:sa:] 【形】  
         湿っぽい。〔例〕 きゅーや すびい  
         ねーり うりんらー(今日はじめ  
         じめしているね)。

すぶる\*【名】冬瓜。  
 ずいんぶん【名】知恵。  
 そー【so:】【名】竿。  
 ぞー【do:】【名】門。〔例〕ぞーなや  
 びいとうんどう うろー(門には  
 人がいる)。  
 そーぎ【so:gi】【名】篩。穀物の選別  
 に使う箕。  
 そーぎぶに【so:gipuni】【名】肋骨。  
 ぞーふいるん【do:firun】【動】濡れる。  
 〔例〕めーま あーみぬ ふいば  
 ぞふいるんどー(今雨が降ってい  
 るから濡れるよ)。  
 ぞーりるん【do:rirun】【動】濡れる。  
 〔例〕めーま あーみぬ ふいば  
 ぞりるんどー(今雨が降っている  
 から濡れるよ)。  
 たー【ta:】【名】田んぼ。  
 たー【ta:】【名】二(ふう)。二つ。数  
 え上げる時に使う。  
 たーぬ あざ【ta:nu adza】【名】田ん  
 ぼのあぜ。〔例〕たーぬ あぎー  
 ぼまさんどー(田んぼのあぜ道が  
 小さい)。  
 たーびい【ta:pi】【名】足袋。  
 たーぶら【ta:bura】【名】野苺の一種。  
 田んぼに生えている。  
 たーぶら\*【名】たにし。  
 たーら【ta:ra】【名】俵。  
 たい【tai】【名】松明。  
 たいく【taiku】【名】太鼓。〔例〕たい  
 くにあーし ぶどうりい し  
 よー(太鼓に合わせて踊ってい  
 る)。  
 だいだかさー【daidakasa:】【形】代高い。  
 高い。高価。〔例〕くれー だ  
 いだかさー そーら(これは値段が  
 高いね)。  
 だいばー\*【名】すり鉢。  
 だいばーすりい\*【名】すり棒。  
 たかーに【ta:ka:ni】【名】たくさん。

〔例〕たかーに にーや かた  
 めー おー ばー かたみるん  
 (沢山荷物はかつげ。はい、私担  
 ぎます)。  
 たかさー【ta:kasa:】【形】高い。  
 たかだい\*【名】脚付の高い台。  
 たから【ta:kara】【名】宝。  
 たき【ta:ki】【名】丈。身長。〔例〕た  
 きぬ たかさー(身長が高い)。  
 たき【ta:ki】【名】竹。  
 たきどうん【ta:kidun】【名】竹富。  
 たきどうんずいま【ta:kidundzima】【名】  
 竹富島。  
 たく\*【名】蛸。  
 だぐるみん【dagurumin】【名】脹脛(ふ  
 くらはぎ)。  
 たていかんにん【ta:tikannin】【名】立  
 てた鬘(たてがみ)。馬の鬘を切り  
 整えて結んだもの。愛馬にやる。  
 たなぬばん\*【名】炊事場の食器棚。  
 たばぐ【tabagu】【名】煙草。  
 たびい【ta:pi:】【名】旅。  
 たふみるん【ta:fu,mirun】【動】畳む。  
 〔例〕きいん たふみれ(着物を  
 畳め)。たふみ ちぎれ(畳んでお  
 け)。  
 たますい【ta:masi】【名】魂。〔例〕た  
 ますいぬ ぬぎんけん うどうる  
 きいた(魂が抜けるほど驚いた)。  
 たますい【ta:masi】【名】常識。  
 たむぬ【ta:munu】【名】薪。  
 たや【ta:ja】【名】活力。  
 たらい\*【名】一本木をくり抜いて作っ  
 た石臼を置いて使用する。  
 たらい【ta:rai】【名】盥。桶。  
 だりかんにん【darikannin】【名】垂れ  
 た鬘(たてがみ)。自然のままの鬘。  
 長くて垂れている。農耕馬に見ら  
 れる。  
 たる【ta:ru】【名】誰。  
 たんがー【tanga:】【名】一人。

ちいぶしいんな\*【名】かんぎく。ひざにたたいて身を出して食べるのが特徴。

ちきだぎ\*【名】燐寸(マッチ)。

ちび[ʧibi]【名】尻。[例] ちびんどう やんさー(お尻が痛い)。

ちびぬ みー [ʧibinu mi:]【名】尻の穴。肛門。[例] ちびぬ みーぬぶいしゃーそーらー(お尻の穴が痒い)。

ちゃ[ʧa]【名】茶。[例] ちゃーや まーさ(茶はおいしい)。

ちゃつぱん[ʧappan]【名】茶碗。湯呑。[例] ちゃつぱんへ ちゃー いりれー(茶碗にお茶を入れなさい)。

ちゃにしや [ʧanifa]【形】～しやす。[例] あん ちゃにしや(言いやすい)。ゆん ちゃにしや(読みやすい)。

ちゅーざら[ʧu:dzara]【名】中皿。

ちよっか[ʧokka]【名】急須。

つあんつあん[tsantsan]【名】雲雀。

ついか[tsi\_ka]【名】斑点の一種。

ついから[tsi\_kara]【名】力。[例] ついからぬ あーそーらー(力があるね)。

ついかんたりい [tsi\_kantari]【動】碎く。

ついきい [tsi\_ki]【名】月。[例] きゅーや ついきえー んでいらぬ(今日は月は出ていない)。

ついきいぬよ [tsi\_kinujo]【名】月の夜。月が見える夜。

つiusui [tsi\_si]【名】血。[例] つiusuinどろ んでいる(血が出ている)。

つiusui [tsi\_si]【名】乳。[例] つiusuinぬまさー(乳をあげよう)。つiusuinどろ んでい うる(乳が出ている)。

ついだみ[tsidami]【名】カタツムリ。

ついな[tsi\_na]【名】綱。縄。[例] めまーついなどろ ない うろ(今は綱をなっている)。

ついなんかん[tsi\_napkan]【名】蟹の一種。モズクガニ。

ついぬ [tsi\_nu]【名】角(つの)。[例] ついぬぬ ひついかさ(角が短い)。

ついぶすい [tsibusui]【名】膝。[例] ついぶすuinどろ やん(膝が痛い)。

ついみ [tsi\_mi]【動】(お腹が身動きができないくらい)いっぱいになる。

ついみ [tsi\_mi]【名】爪。[例] ついみぬばぎ ねーのー(爪が剥がれてしまった)。

ついら [tsi\_ra]【名】面(つら)。顔。[例] ついらぬ かーぬ あついさー(顔の皮が厚い。恥知らずだ)。

つーさ [tsu:sa]【形】強い。[例] かれーつーさーそー(彼は強いね)。

つさい [ssai]【名】白髪。

つさん [ssan]【名】白鼠。

つすーさ [ssu:sa]【形】白い。[例] つすーさー そーらー((色白の肌を指して)白いね)。

つすかびい [ssukapi]【名】白紙。

つすんたーりい [ssunta:ri]【形】白い。[例] つすんたーりい うろー(白いね)。

ついつぶる [tsippuru]【名】頭。[例] つつぶるぬ やんさー(頭が痛い)。

つふあさ [ffasa]【形】暗い。[例] ゆーねん よ つふあさー すよー(夜はさ、暗いよね)。

ていー [ti:]【名】一(ひい)。一つ。数え上げる時に使う。

ていー [ti:]【名】手。腕。形。[例] わーていーぬ なーさー(君の腕は長い)。

ていーさつ [ti:satsi]【名】手拭い。

ていーついくん [ti:tsi\_kun]【名】拳で打つこと。



- ていーなーさ [ti:na:sa] 【名】こそ泥。  
 ていちいんがら\* 【名】屋根の頂上をおさえる太い黒次縄。  
 ていつい [tisi] 【名】てっぺん。頂上。頂き。〔例〕ていつえー みるのー (頂上が見えない)。  
 ていった [titta] 【名】太陽。〔例〕ていったー あがりた (太陽が出た)。ていったんどう あがろーりい (太陽が出る)。  
 ていりい [tiri] 【名】箬。  
 ていんなま [tinnama] 【名】(小型の)箬。  
 どう [du] 【助詞】～ぞ。  
 とぅー [tu:] 【名】十。  
 どうー [du:] 【名】体。自分  
 とぅーさ [tu:sa] 【名】遠く。  
 どうーだい [du:dai] 【名】体。〔例〕どうーだいぬ まいしゃー (体が大きい)。  
 どうーだるさー [du:darusa:] 【形】体がだるい。鈍い。  
 どううんぬ\* 【名】胴をまくみの。  
 とぅきい [tu,ki] 【名】時。  
 どうぐん [dugun] 【名】所。場所。〔例〕わー うる どうぐん (君がいる場所)。  
 とぅすい [tu,si] 【名】年。  
 どうすい [dusi.] 【名】友達。  
 とぅどうる あん [tuduru an] 【名】網の一種。  
 どうな [duna] 【副】どこに。〔例〕どうなどう うりゃー (どこにあるの)。  
 とぅなりい [tu,nari] 【名】隣。〔例〕ばんだ とぅなりいなーや ゆーびんきよくんどう ありい (うちの隣には郵便局がある)。  
 とぅぶん [tubun] 【動】飛ぶ。とぅばぬ (飛ばない)。  
 どうま [duma] 【名】どこ。  
 とぅらぬば [tu\_ranupa] 【名】寅の方角。  
 どうり [duri] 【名】どれ。  
 とぅり ふさり うる [tu,ri fu,sariuru] 【句】静かである。  
 とぅーに [to:ni] 【名】(豚の)餌入れ。  
 とぅらー [to:ra:] 【名】台所。炊事場。母屋とは別の建物にある。「唐倉」に由来している。  
 とぅらー [to:ra:] 【名】同年の女性。「輩」に由来している。  
 とぅらりるん [to:rarirun] 【動】いただく。  
 とるくびやど\* 【名】茅と竹で造った茅葺屋根の雨戸。  
 なー [na:] 【助詞】～に。～で。  
 なー [na:] 【名】名。  
 なーさ [na:sa] 【形】長い。  
 なーつあ [na:tsa] 【名】翌日。  
 なーつあぬ すいとうむでい [na:tsanusitumudi] 【名】翌朝。  
 なーやー\* 【名】納屋。  
 なか [naka] 【名】中。〔例〕ばたぎぬ なか (畑の中)。  
 なかーれ\* 【名】間食。  
 なかざ\* 【名】炊事場の土間。  
 なかむる\* 【名】一合舂。  
 なぎ [nagi] 【名】風。〔例〕いなやなぎ びいかりどう うろー (海は平らで、光っている)。  
 なすいん [nasin] 【動】生む。〔例〕ふあーどう なすいこさー (子どもを産みそうだ)。ふあー なすいたどー (子どもを産んだ)。  
 なた [nada] 【名】涙。〔例〕なだんどう ふてい (涙が出ている)。  
 なつあーら [natsa:ra] 【名】海人草。  
 なついんの一ま [natsinno:ma] 【名】夏用の蓑。小型である。  
 なつつい [natsi] 【名】夏。〔例〕なつつい はつつあー (夏は暑い)。  
 なな [nana] 【名】七(しち)。  
 ななつい [nanatsi] 【名】七つ。

なね一つ [nane:tsi] 【名】 桑の実。  
 なねつゐ [nanetsi] 【名】 桑の実。  
 なば\* 【名】 茸。  
 なび\* 【名】 鍋。  
 なべーら [nabe:ra] 【名】 糸瓜(へちま)。  
 ならしい\* 【名】 竿を横に吊るした着物掛。  
 なりいむぬ [narimunu] 【名】 生り物。果物。  
 なん [nan] 【名】 地震。  
 にー [ni:] 【名】 荷。荷物。  
 にーりい [ni:ri] 【名】 右。  
 にーりいていー [ni:riri:] 【名】 右手。  
 にかふく\* 【名】 藁縄と藁で編んだ敷物。粗干などに使う。  
 にく [niku] 【名】 肉。  
 にしかじ [nifi:kaʒi] 【名】 北風。  
 にしんた [nifinta] 【名】 北。  
 にぬば [ninupa] 【名】 子の方角。  
 にぬばかじ [ninupakaʒi] 【名】 子の方角。  
 にんがつい [ningatsi] 【名】 二月。  
 ぬ [nu] 【助詞】 への。属格助詞。  
 ぬー [nu:] 【名】 野。野原。〔例〕 ぬーなーんどう ふすいぬ うろ(野に牛がいる)。  
 ぬーぱつゐ [nu:patsi] 【名】 蜂の一種。野原の茅に巣を作る。  
 ぬーぱら [nu:pa,ra] 【名】 野原。  
 ぬつきりい [nukkiri] 【名】 鋸。〔例〕 ぬつきりいし きー きし うろ(鋸で木を切っている)。  
 ぬっさ [nussa] 【形】 遅い。〔例〕 ぬっさー そーらー(遅いねえ)。きいぬ きいそー ぬっさーた そーらー(昨日来るのが遅かったね)。  
 ぬっぶい [nuppui] 【名】 首。〔例〕 わーぬっぶいや なー なーなーししてい はっぱりしゃー(君の首が長くて美しい)。

ぬっぶいかつゐ [nuppuikatsi] 【名】 首筋。〔例〕 ぬぶいかつゐんどう こーりさー(首筋が凝っている)。  
 ぬどう [nudu] 【名】 喉。  
 ぬぬ [nunu] 【名】 布。〔例〕 ぬぬんどうたらーん(布が足りない)。  
 ぬふさ [nufusa] 【形】 暖かい。〔例〕 きゅーや ぬふさーそーら(今日は暖かい)。  
 ぬるくんちゃ [nurukunʒa] 【名】 トンボの一種。オニヤンマ。  
 ぬん [nun] 【名】 蚤。  
 ぬん [nun] 【名】 鑿。  
 ぬーのー [ne:no:] 【動】 無い。〔例〕 のーん ぬーの(何も無い)。  
 のー [no:] 【名】 何。  
 のーし [no:ʒi] 【副】 どう。どうして。なんで。  
 のーでい [no:di] 【副】 何故。  
 ぱー [pa:] 【名】 歯。  
 ぱーげ [ba:ge] 【名】 籠。  
 ぱーらんく [pa:raŋku] 【名】 小さな太鼓。  
 ぱい [pai] 【名】 灰。  
 ぱい [pai] 【名】 南。  
 ぱい [pai] 【名】 蠅。  
 ぱいかじ [paikaʒi] 【名】 南風。  
 ぱいしゃー [paifa:] 【形】 速い。〔例〕 ぱいしゃー そーらー(速いね)。きいぬ ぱったー くるま ぱいしゃーたー そーらー(昨日走っていた車は速かったね)。  
 ぱいぬ すいま [painu si,ma] 【名】 南の島。新城島。  
 ぱか [pa,ka] 【名】 墓。  
 ぱがさ [bagasa] 【形】 若い。〔例〕 ぱがむぬ(若者)。ぱがさー そーらー(若いねえ)。  
 はかさー [ha:kasa:] 【形】 赤い。〔例〕 うれー はかさー そーらー(あれ(幕)赤いね)。はかみそー(赤い

- ね)。
- ばがすん[bagasun]【動】炊く。
- はかついきいん[ha,katsi,kin]【名】暁。
- はかついすい[ha,katsisi]【名】赤血。血。〔例〕はかついすいぬ んでいるー(血が出ている)。
- はかばつい[ha,kapatsi]【名】蜂の一種。アシナガバチ。
- ばかま[pa,kama]【名】袴。
- はかまつい[ha,kamatsi]【名】髪の毛。
- ばがむぬ[bagamunu]【名】若者。
- はかりい\*【名】障子。
- はかるさ[ha,karusa]【形】明るい。〔例〕めー はかりた(もう明るいね)。めー はかりした(もう明るいね)。
- はかたーりい[ha,kanta:ri]【形】赤い。
- ばきいたらぶん\*【名】祝事に使用する長膳。
- はきいり[ha,ki,ri]【動】飽きる。
- ばぎいんた[baginta]【名】腋。
- ばぎいんだりい[bagindari]【名】腋。〔例〕ばぎいんだりいぬ き(腋下の毛)。
- はきる\*【動】開ける。
- ぱく[pa,ku]【名】箱。
- はさ\*【名】朝。
- はささー[ha,sasa:]【形】浅い。〔例〕くまー いな はささー すよー(ここは海が浅いな)。くぬ いな や はささー(この海は浅いな)。
- ばさすい[pa,sasi]【名】歯茎。〔例〕ばさすいんどう みらり(歯茎が見える)。
- はさんぼん[ha,sampon]【名】朝食。
- はし[ha,fi]【名】汗。〔例〕はし ふきど うっさー(汗が出ている)。
- ばすい[pa,si]【名】箸。〔例〕ばすい しー はいむぬ ばさむん(箸で食べ物を挟む)。
- はすいてい[ha,si,ti]【名】明後日。
- ばだ[bada]【名】お腹。〔例〕ばだんど うやん(お腹が痛い)。
- ばたぎ[pa,tagi]【名】畑。
- ばたぎしくど う[pa,tagi,figudu]【名】畑作業。
- ばだむっすい[padamussi]【名】蓆。寝床に敷く蓆。〔例〕ばだむっそー どうな どう ありゃー(蓆はどこにあるの?)。
- ばたむぬ\*【名】織機。
- はたりい\*【動】当る。
- はつあ[ha,tsa]【形】暑い。熱い。
- ぱつい[pa,tsi]【名】蜂。〔例〕ちかぐろー ぱつえー みらるぬ(最近蜂が見えない)。
- はついざ[hatsidza]【名】下駄。
- ぱついんがつい[pa,tsingatsi]【名】八月。
- はっかい[hakkai]【名】お玉。汁杓子。
- はっこん[ha,kkon]【名】芋。
- ぱっさん[pa,ssan]【名】鋏。〔例〕ぱっさんしー かびい きし うろ(鋏で紙を切っている)。
- ぱっそー[passo:]【形】速い。
- はったらさー[ha,ttarasa:]【形】可愛い。
- はっつあ[ha,tsa]【名】明日。
- はっぱりしゃ[ha,ppari,fa]【形】美しい。きれい。〔例〕うぬ みど うむふあーや はっぱりしゃー(この女の子は美しい)。
- はっふい[ha,ffui]【名】欠伸。〔例〕はっふい しー めー ならのー(欠伸してたまらない)。あがよい はっふい しー めー ならの めー(あれ、欠伸してもうたらまない)。
- ばているま[pa,tiruma]【名】波照間。
- ばてるま[pa,teruma]【名】波照間。

はとう [ha, tu] 【名】 跡。  
ぱとう [pa, tu] 【名】 鳩。  
ぱとうま [pa, tuma] 【名】 鳩間。  
ばな [pa, na] 【名】 花。  
ばな [pa, na] 【名】 鼻。  
ばなだりい [pa, nadari] 【名】 鼻垂れ。鼻水。〔例〕 ばなだりいんどうんでい うる(鼻水が出る)。  
ばなつい [pa, natsi] 【名】 鼻血。  
ばなやかすい [pa, najakasi] 【形】 賑やか。  
ばなり [pa, nari] 【名】 離れ。新城島のこと。  
ばに [pa, ni] 【名】 羽。  
ばぬ [banu] 【名】 私。〔例〕 ばな一やまとうはら きいた(私は日本本土から来た)。  
ばもーる\* 【名】 蛤。  
ばやりい\* 【名】 酢。  
はら [hara] 【助詞】 ～から。  
ばら [pa, ra] 【名】 柱。〔例〕 ばらんどうちろー(柱が立っている)。  
ばらふた [barafu, ta] 【名】 藁。米の藁。  
ばらま [parama] 【名】 蟹の一種。スナガニ。浜辺に生息し、白くて、走りが早い。  
ばらまかん [paramakan] 【名】 蟹の一種。スナガニ。「ばらま」と同じ。  
ぱりい [pari] 【名】 針。  
ばるさ [barusa] 【形】 悪い。〔例〕 きゅーや おついきい ばるさー そーらー(今日は天気が悪いねえ)。きゅーや おついきい ばるさー りき ふねー ンドうの一(今日は天気が悪くて船が出ない)。  
ぱるん [pa, run] 【動】 行く。去る。〔例〕 どうまいどう ぱりゃー. ぱたぎーへどう ばる。(どこに行くんだ? 畑に行く)。  
ばれん\* 【名】 束子。わらで作った束子。  
ぱん [pan] 【名】 足。〔例〕 ぱんどう

ぶがりしゃりい(足が疲れている)。  
ぱんがま\* 【名】 めし炊き。はがま。  
ぱんじる [banjiru] 【名】 ぱんしろろ。グアバ。  
ぱんだ [banda] 【名】 私たち。  
ぱんたさ [pantasa] 【形】 忙しい。〔例〕 ぱんたさぬ とぅんな ばららの一(忙しくて取りに行けない)。  
ぱんだま\* 【名】 すいぜんじ草。  
ぱんたり [pantari] 【形】 太っている。〔例〕 ぱんたり つすよー くぬびいと一(太ってるねえ、この人)。ぱんたり そー(太っているよ)。  
ぱんぬ かどう [pannu kadu] 【名】 踵。〔例〕 ぱんぬ かどうんどう やんさー(踵が痛い)。  
ぱんぬ はとう [pannu ha, tu] 【名】 足跡。〔例〕 ぱんぬ はとうんどう みらりー(足跡が見える)。  
ぱんびん [pambin] 【名】 天麩羅。〔例〕 きゅーや ぱんびん やかんだら一 ならの一(今日は天麩羅を焼かなければならない)。  
ぱんまい\* 【名】 芋。米等三食の主食糧。  
びい\* 【名】 火。  
びいかりい [pi, kari] 【名】 光。〔例〕 とぅーさなーや びいかりいぬみーらり(遠くに光が見える)。  
びいきい\* 【名】 斤量用はかり。  
びいさー [pi, sa:] 【名】 あなたたち。〔例〕 びいさーや どうまはらどう きいたら一(あなたたちはどこから来た?)。  
びいささー [pisasa:] 【形】 平たい。  
びーしゃ [pi:ʃa] 【形】 寒い。〔例〕 びーしゃー ねーの一(寒くない)。きゅーや びーしゃーそーら(今日は寒いね)。  
びいだりい [pidari] 【名】 左。  
びいだりいていー [pidariti:] 【名】 左

手。  
 ぴいとう [pi,tu] 【名】人。〔例〕 ぴいとうんどろ うろ(人がいる)。  
 ぴいとうがら [pi,tugara] 【名】一頭。  
 ぴいとうゆら [pi,tujura] 【名】一枚。  
 ぴいとうりい [pi,turi] 【名】一人。  
 ぴいどみ [pidomi] 【名】笑窪。  
 ぴいなー\* 【名】火縄。  
 ぴいに [pi,ni] 【名】髭。  
 ぴいま [pi,ma] 【名】暇。  
 ひーるん [hi:run] 【動】あげる。くれる。  
 ぴいろーま [pi,ro:ma] 【名】昼。  
 ぴいろーま ほと [pi,ro:ma hato] 【名】  
 昼間後。午後。〔例〕 ぴいろーま  
 はとはら いふくよーらー(午後  
 から休みましょう)。  
 ぴいろむぬ [pi,romunu] 【名】昼食。  
 ぴいろんぼん [pi,rombon] 【名】昼食。  
 ぴいんぐるさ [pigirusa] 【形】冷た  
 い。〔例〕 きゅーや ぴいんぐる  
 さそーら(今日は冷たいね)。  
 ぴいんそー [pinso:] 【形】貧しい。〔例〕  
 ぴいんそー むぬ(貧乏人)。  
 びぎおー [bigio:] 【名】雄豚。  
 びぎどらん [bigidun] 【名】男。男性。  
 〔例〕 びぎどらんにゃ うらの(男  
 性はいない)。  
 びぎびびじゃ [bigipibiɕa] 【名】雄山  
 羊。  
 びぎふすい [bigifusi:] 【名】雄牛。  
 びぎんま [bigimma] 【名】雄馬。〔例〕  
 びぎんまんどろ あんがりろ(雄  
 馬が走っている)。  
 ひこぶりゃー [hi,koburja:] 【句】幾  
 らか。  
 ひし\* 【名】石。  
 ぴしゃー [piɕa:] 【形】薄い。〔例〕 く  
 ん かびえー ぴしゃー すよー  
 くれー はっさー すよー(この  
 紙は薄いよ。これは厚いよ)。  
 ぴしゃーみ [bifa:mi] 【名】(大型の)

水瓶。  
 びすいけー [pisi,ke:] 【形】好き嫌い。  
 〔例〕 わや むぬ びすいけー(君  
 はものが好き嫌いです)。  
 ひたさ [hi,tasa] 【形】痛い。  
 ひつい [hi,tsi] 【名】五(いつ)。五つ。  
 数え上げる時に使う。  
 ひつい [hi,tsi] 【名】何時(いつ)。  
 びつい [pisi] 【名】肘。〔例〕 びつい  
 ふち ねーの(肘を打ってしまっ  
 た)。かいりどろ びつい ぱり  
 ねーのー(ひっくり返って肘を  
 打ってしまった)。  
 ひついかさ [hitsi,kasa] 【形】短い。  
 ひついから [hi,tsi,kara] 【名】五頭。  
 ひついつい [hi,tsisi] 【名】五つ。  
 びった [pi,tta] 【名】下手。  
 ひっちゃー [hi,tɕa:] 【名】先輩。  
 ひていつい [hi,titsi] 【名】蘇鉄(そて  
 つ)。  
 びていつい [pi,titsi] 【名】一つ。  
 びとろ [pi,tu] 【名】海豚(いるか)。  
 びびじゃ [pibiɕa] 【名】山羊。  
 びびじゃぬ にく [pibiɕanu niku]  
 【名】山羊の肉。  
 びびじゃぬ やー [pibiɕanu ja:] 【名】  
 山羊の家。  
 ひふつい [hi,fu,tsi] 【名】幾つ。  
 ひらー [hi,ra:] 【名】同級生。  
 ぴらかさ [pi,raka,sa] 【形】涼しい。  
 〔例〕 きーぬ すいたらー ぴる  
 かさんどー(木の下は涼しい)。  
 びらま [birama] 【名】同年の男性。  
 ぴりる [pi,riru] 【動】冷える。  
 びん [pin] 【名】大蒜(にんにく)。〔例〕  
 びん ふささぬ(大蒜が臭い)。び  
 んぬ かぎー ふささのー(大蒜  
 の匂いは臭い)。  
 びんぐ [pingu] 【名】煤。〔例〕 びんぐ  
 んどろ なびぬ すくな だっ  
 くわりろ(煤が鍋の底にくっつい

ている)。  
 びんだれー [bindare:] 【名】洗面器。  
 ふあい [fai] 【動】食べる。  
 ふあいだま [faidama] 【名】食いしん坊。  
 ふあいむぬ [faimunu] 【名】食べ物。〔例〕  
 はいむぬ かいなどう ぱりい  
 (食べ物を買いに行く)。  
 ぶいしゃ [buiša] 【形】痒い。  
 ぶいぬ [buinu] 【名】(大型の)斧。  
 ぶいぬ ぱ [buinu pa] 【名】クワズイ  
 モ。  
 ぶー [bu:] 【名】緒。紐。〔例〕ぶーどう  
 まるきい(紐を結ぶ)。  
 ぷー [pu:] 【名】帆。  
 ふーやー [fu:ja:] 【名】母屋。  
 ぷか [pu,ka] 【名】外(そと)。〔例〕きゅー  
 や ぷかへ んでいちゃー ねー  
 の(今日は外に出たくない)。  
 ふかーま [fu,ka:ma] 【名】(小型の)鮫。  
 ふかさー [fukasa:] 【形】深い。  
 ふがさー [fugasa:] 【形】黒い。〔例〕  
 ばなー ふがさー(僕は黒いよ。  
 (色黒だ))。  
 ふがさった [fugasatta] 【名】黒糖。  
 ふかんぎむつゐ [fu,kaggimutsi] 【名】  
 餅の一種。十五夜の時に食べる。  
 ふがんだーりい [fuganta:ri] 【形】黒  
 い。〔例〕ふがんだーりい そー  
 らー(黒いよ)。  
 ぷく [pu,ku] 【名】竹でできた針。茅  
 葺きの屋根を縫うための針。  
 ぶぐじゃーま [buguša:ma] 【名】踝。  
 ふくだー\* 【名】古い着物などを利用  
 して縫い、たんぜんのようなもの。  
 ふくつゐ [fukutsi] 【名】綿。  
 ふくぬつゐ [fu,kunutsi] 【名】九つ。  
 ふくるさ [fu,kurusa] 【形】柔らかい。  
 ふけ [fu,ke] 【名】雲脂(ふけ)。  
 ぶさ [busa] 【名】尻尾。〔例〕ぶさんどう  
 なーさりい(尻尾が長い)。  
 ふささ [fu,sasa] 【形】臭い。〔例〕ふ

ささー そーらー(臭いね)。  
 ぶざさ [budzasa] 【名】おじさん。  
 ぶざさだー [budzasada:] 【名】おじさ  
 んたち。  
 ぶしゅ [pu,šu] 【名】臍。〔例〕ぶすんどう  
 まがりろー(臍が曲がっている)。  
 ふすい [fu,si] 【名】白。〔例〕ふすい  
 な まみ ついくんどー(白で豆  
 を搗くよ)。  
 ふすい [fu,si] 【名】牛。  
 ふすい [fu,si] 【名】櫛。  
 ぶすい [pu,si] 【名】星。〔例〕ぶすい  
 んどう ゆーばい しる(星が横  
 滑りしている(流れ星のこと))。  
 ふすいぬ にく [fu,sinu niku] 【名】牛  
 の肉。  
 ふすいぬ やー [fu,sinu ja:] 【名】牛  
 の家。  
 ふすいま [fu,si,ma] 【名】黒島。  
 ふた [fu,ta] 【名】歌。  
 ふたーつい [fu,ta:tsi] 【名】二つ。  
 ふたーりい [fu,ta:ri] 【名】二人。  
 ふたがら [fu,tagara] 【名】二頭。  
 ふたゆら [fu,tajura] 【名】二枚。  
 ふつゐ [fu,tsi] 【名】口。  
 ふつゐ [fu,tsi] 【名】草鞋(わらじ)。  
 ふつゐあん [fu,tsian] 【名】打ち網。  
 投網。  
 ふつゐぬすいば [fu,tsinusiba] 【名】唇。  
 ぶっくい [pu,kkui] 【名】福木。  
 ぶっくいき [pu,kkuiki] 【名】福木の木。  
 ふったい [futtai] 【名】額。  
 ぶったりい\* 【名】水汲み柄杓。  
 ぶっつお\* 【名】刻み煙草。きせる入れ。  
 ふっぴい [fuppi] 【名】襟。  
 ふでい [fudi] 【名】筆。  
 ふでいーり [fudiiiri] 【名】筆入れ。  
 ふとう [futu] 【名】音。〔例〕ふとう  
 ぬ まいしゃぬ(音が大きい)。  
 ふとうざ [fu,tuža] 【名】親戚。親族。  
 ふどうしい\* 【名】十糶位の竹で作っ

- た糲落用具。
- ふとうどう [fu\_tudu] 【名】 年下。
- ぶどうどうい [bududui] 【名】 一昨日。
- ぶどうりい [buduri] 【名】 踊り。〔例〕  
どうまなどう ぶどうりい や  
なろーだら(どこで踊りを習っ  
たの)。
- ふなだまりい [fu\_nadamari] 【名】 船  
泊り。港。
- ふなちき [fu\_nafiki] 【名】 船着場。
- ふに [fu\_ni] 【名】 船。〔例〕 ふにへ  
ぬるん(船に乗る)。
- ぷに [pu\_ni] 【名】 骨。
- ふにふ [fu\_nifu] 【名】 蜜柑(みかん)。  
シークァーサー。〔例〕 ばな ふ  
にほー はーぬ(私はミカンを食  
べない)。
- ぶねーつい [pu\_ne:tsi] 【名】 赤潮。珊  
瑚礁の産卵期に海が変色し、臭い  
匂いがすること。その時に海のも  
のを取ってはいけないという。
- ぶばま [bubama] 【名】 おばさん。
- ふみ [fu\_mi] 【動】 履く。
- ふゆ [fu\_ju] 【名】 冬。〔例〕 ふよー びー  
しゃ(冬は寒い)。
- ふるさ [fu\_rusa] 【形】 古い。〔例〕 みー  
さる むぬ ふるさる むぬ(新  
しいもの、古いもの)。
- ふるまいりい\* 【名】 木に穴を開ける  
廻転式の道具。
- ふるまぼう\* 【名】 豆打棒。
- ふるやー [furuja:] 【名】 便所。
- ふん [fun] 【名】 釘。〔例〕 ふんどう  
ふちろー(釘を打っている)。
- ふんだ\* 【名】 竹で編んだ床。
- ぶんだかさー [bundakasa:] 【形】 偉い。
- ふんだぬ ばん [fundanu pan] 【名】 床。  
へ [he] 【助詞】 ～に。～へ。
- べーまるん [pe:marun] 【動】 隠れる。  
〔例〕 やーぬ しんたなどう  
べーまり うろ(家の後ろに隠れ  
ている)。
- ペーラー\* 【名】 ひょうたんで造った  
物入れ。
- ぺんつくまりい [pentsi\_kumari] 【動】  
痺れる。〔例〕 ぼんどう ぺんつく  
まり うる きー(足が痺れて  
いる)。
- ぼーきい [po:ki] 【名】 箒。
- ぼーぎいん [po:gin] 【動】 掃く。
- ぼーざ [po:dza] 【名】 包丁。〔例〕 ぼー  
ざしー いず きっすん(包丁で  
魚を切る)。
- ほんぱつい [hompatsi] 【名】 蜂の一種。  
スズメバチ。
- まーす [ma:su] 【名】 塩。食塩。〔例〕  
まーす ぼーり(塩を蒔く)。まー  
す いりれ(塩を入れなさい)。
- まーにー [ma:ni:] 【名】 くらつぐ。
- まーぬむぬ [ma:numunu] 【名】 間食。
- まーび [ma:bi] 【名】 真似。〔例〕 びいとう  
ぬ まーべー すいな(人の真似  
はするな)。
- まい\* 【名】 お米。
- まいぐすいく [maigusi\_ku] 【名】 ヒン  
ブン。
- まいしゃ [maifa] 【形】 大きい。広い。
- まいしゃー [maifa:] 【形】 緩い。〔例〕  
おつふあ だつかへ むぬん ま  
いしゃ(だぶだぶのこともマイ  
シャー(と言う))。
- まいだごらー [maidagora:] 【名】 蛇の  
一種。アオダイショウ。
- まいぬ かい [mainu kai] 【名】 米の  
お粥。
- まいぬ くらー [mainu ku:] 【名】 米の粉。
- まいまーきい\* 【名】 母屋の前の垣根。
- まいんた [mainta] 【名】 前。前方。
- まかすん [makasun] 【動】 炊く。
- まきい [maki:] 【名】 旋毛。
- ませーませ [mase:mase] 【形】 変。〔例〕  
ませーませー ださー(気が狂っ

ているね)。  
 また[mata]【名】股。  
 またばい[matabai]【名】股ずれ。  
 またぶし[matabufi]【名】腿の付き根。  
 まつい[matsi]【名】松。  
 まつい[matsi]【名】睫毛。  
 まついぎ[matsiki]【名】松の木。  
 まついぬ きー[matsi\_nu ki:]【名】松の木。〔例〕まついぬ きーんどうたかーに むいる(松の木がたくさん生えている)。  
 まっかりい[makkari]【名】椀。〔例〕まっかりいへ んぼん いられー(椀にご飯を入れなさい)。  
 まっこん[makkon]【名】やしがに。  
 まっさ[massa]【形】美味しい。〔例〕まっさー そーらー(美味しいね)。まっさーんだらー ふあいみれー((みんなに向かって)美味しいよ、食べてみなさい)。  
 まっチャ\*【名】婦人のパンツのようなもの。  
 まっふあ[maffa]【名】枕。  
 まにんつあ[manintsa]【名】組板(まないた)。〔例〕まにんつあぬ ういな いず きっすんどー(組板の上に魚を切るよ)。  
 まみ\*【名】大豆。  
 まや[maja]【名】猫。〔例〕まやんどうなけろ(猫が泣いている)。まやんどう あうどうげりい しーろ(猫が発情期の泣き声をしている)。  
 まゆ[maju]【名】眉毛。〔例〕みーぬまゆぬ なーさー(眉が長いね)。  
 まりるん[marirun]【動】生まれる。〔例〕ふあーんどう まりるろー(子どもが生まれる)。やがでい まりるんどー(もうすぐ生まれる)。  
 まるさー[marusa:]【形】丸い。〔例〕きゅーぬ ついぎえー まるさー

(今日の月は丸い)。  
 まるさー[marusa:]【形】低い。  
 まんじゅまい\*【名】パパイヤ。  
 みー[mi:]【名】目。  
 みー[mi:]【名】三(みい)。  
 みーてい[mi:ti]【名】三年。  
 みーいん[mi:i:n]【名】雌犬。  
 みーおー[mi:o:]【名】雌豚。  
 みーさ[mi:sa]【形】新しい。〔例〕みーさる むぬん ふるさる むぬんとうり く(新しいものも古いものも取ってこい)。くれー みーさー ねーぬ(これは新しくない)。  
 みーつい[mi:tsi]【名】三つ。  
 みーていなてい[mi:tinati]【名】一昨年。  
 みーなま[mi:nama]【名】芽。〔例〕みーなまんどー んでい きいー(芽が出てくる)。  
 みーにし[mi:nifi]【名】風の種類。新しい季節に入って吹く風。〔例〕みーにしんどう ふき うる(新北が吹いている)。  
 みーびいからさ[mi:pi:karasa]【形】眩しい。〔例〕みーびいからさぬみらるぬ(眩しくて見えない)。ていだ みーだら みーびいからさー(太陽見たら眩しいよ)。  
 みーびびじゃ[mi:pibiʃa]【名】雌山羊。  
 みーふすい[mi:fusi]【名】雌牛。  
 みーんま[mi:mma]【名】雌馬。〔例〕みーんまんどー かけりろ(雌馬が走っている)。  
 みしゅ[mi:fu]【名】味噌。〔例〕まみしーみしゅ ついくるん(豆で味噌を作る)。  
 みしゅかみ[mi:fuka\_mi]【名】味噌瓶。  
 みすいたりい[mi:si:tari]【名】三人。  
 みずいらさー[mi:dzirasas:]【形】珍しい。



みぢいんだら\*【名炊事場からの水をためる水溜。  
 みつい [mitsi]【名】道。  
 みついかみ [mitsika, mi]【名】水瓶。  
 みつちゃ [mitʃa]【形】(味が)まずい。  
 [例] くぬ んぼんにゃ みつ  
 ちゃ(このご飯はおいしくない)。  
 みつとうん [mittun]【名】女。女性。[例]  
 みつとうにゃ うらの(女性はい  
 ない)。  
 みなー [mina:]【名】庭。[例] みなー  
 なや ばなんどう さきろー(庭  
 には花が咲いている)。  
 みみつい [mimisi]【名】蚯蚓(みみず)。  
 みん [min]【名】耳。  
 みんぐるすん [miggurusun]【動】平手  
 打ちする。  
 みんた [minta]【名】類。  
 みんついぶ [mintsibu]【名】耳瓶。食  
 油入、四つ耳のついた瓶。[例]  
 みんついぶなーや あわんど  
 ういりる(耳瓶には油が入って  
 いる)。  
 みんぬ すいたりい [minnu si, tari]  
 【名】耳たぶ。  
 むい [mui]【動】生える。  
 むいっちゃーま\*【名】上着の上から  
 かける短い着物。  
 むいぬ くー [muinu ku:]【名】麦粉。  
 むーる [mu:ru]【名】皆。  
 むかすい [mukasi]【名】昔。  
 むすい [musi]【名】虫。  
 むつい [mutsi]【名】餅。  
 むっす [mussu]【名】筵。  
 むとうちき [mutuʃiki]【名】船着場。  
 むに [muni]【名】言葉。[例] わー  
 むねー じょーとー あらのー  
 (お前は言葉がよくないね)。  
 むぬ [munu]【名】もの。[例] くぬ やー  
 なーや むのー のーん かーん  
 ありどう うる(この家にはもの

が何でもある)。

むふく [mufu, ku]【名】婿。  
 むむたりい [mumutari]【名】腿。[例]  
 むむたりいぬ まいしゃー(腿が  
 太い)。  
 めーりびったー [me:ribitta:]【名】  
 年頃の娘。  
 めーんめん まいた [me:mmen maita]  
 【名】少し前。さつき。先刻。[例]  
 めーんめん まいたな きふたー  
 (さつき来ていた)。  
 めへん [mehen]【副】もつと。[例] め  
 へん ひーれー(もつとくださ  
 い)。めへん いっちゃーどう  
 ある(もつともらいたい)。  
 めまー [mema:]【名】今。[例] めまー  
 のーどう しーりゃ(今は何をし  
 ているの?)。めまー さだぎど  
 うきいたー(今さつき来た)。  
 めまーさきい [mema:sa, ki]【副】今先。  
 さつき。[例] めまーさきいど  
 うきいたー(今さつき来た)。  
 めまざいぶん [memadzibun]【名】今時分。  
 今時。  
 やー [ja:]【名】八(やあ)。数え上げ  
 る時に使う。  
 やー [ja:]【名】家。[例] くぬ やー  
 や まいしゃそー(この家は大き  
 いね)。  
 やーきしゃ [ja:ki, ʃa]【名】家で切る  
 着物。  
 やーさ [ja:sa]【形】空腹である。[例]  
 やーさぬ(お腹空いた)。  
 やーつい [ja:ʃi]【名】八つ。  
 やーにんごーるん [ja:ningo:run]【動】  
 濁る。[例] たいふーの はとー  
 やーにんごーる すよー(台風  
 の後は(海が)濁っているね)。やー  
 にんごーりどうろー(濁っている  
 ね)。  
 やーぬ ふく [ja:nu fu, ku]【名】家

- の奥。
- やーぬ ふつい [ja:nu fu:tsi] 【名】  
家の内。屋敷の中。
- やーらさ [ja:rasa] 【形】柔らかい。
- やかだ [jakada] 【名】横。側。
- やかだぶに [jakadabuni] 【名】肋骨。
- やきい\* 【動】焼く。
- やぎー [jagi:] 【形】痩せている。〔例〕  
やぎ ふそー(痩せてるねえ)。
- やく [jaku] 【名】櫛。〔例〕やくさーりい  
どう くい うろー(櫛で漕いで  
いる)。
- やっかん [jakkan] 【名】薬缶。
- やっこん [jakkon] 【名】薬缶。
- やっさ [jassa] 【形】安い。
- やっさいばんびん [jassaipambin] 【名】  
野菜天麩羅。
- やどう [jadu] 【名】戸。〔例〕やどう  
ぬ はきらり うんどー(戸が開  
いてある)。
- やどうふつい [jadufu:tsi] 【名】入口。  
〔例〕やどうふつえー どうま  
りゃー(入口はどこなの?)。
- やにしや [jani:sa] 【形】汚い。〔例〕やー  
ぬ なかぬ ぼつつあーり やに  
しゃ(家の中が散らかっていて汚  
い)。
- やふんがい\* 【名】たんす同様の昔の  
衣装を入れる木箱。
- やまんがらしい\* 【名】山刀。
- やん [jan] 【名】病気。〔例〕やんにゃ  
のーりした(病は直った)。なー  
わー やんにゃ のーりいたー  
(君の病気は治った?)。
- やんどうすいー [jandusi:] 【動】痛  
い。〔例〕ゆびばどう きいしい  
やんどうすい(指を切って痛い)。
- ゆいの一 [juino:] 【名】結納。
- ゆいまろ [juimarō] 【名】結い。協同。  
相互扶助。
- ゆー [ju:] 【名】お湯。〔例〕ゆーや  
ふきどうろ(お湯は沸いている)。
- ゆー [ju:] 【名】四(よお)。
- ゆーつい [ju:tsi] 【名】四つ。
- ゆーばい [ju:bai] 【名】夜這い。迷う  
こと。
- ゆきい [juki:] 【名】(小型の)斧。
- ゆきいば\* 【名】木をけずるちょうのう。
- ゆくすいむぬ [jukusimunu] 【名】嘘。〔例〕  
わや ゆくすいむにば しーう  
りゃ(お前は嘘をついているか)。
- ゆすいきい [jusi:ki] 【名】ススキ。〔例〕  
くなーや ゆすいきえー ねーの  
(ここにはススキはない)。
- ゆっさ [jussa] 【形】重い。〔例〕ぷに  
んどー ゆっさ(骨が重い)。
- ゆったりい [juttari] 【名】涎。〔例〕ゆっ  
たりいんどー んでいろ(涎が出  
ている)。
- ゆつついりい [jutsu:siri] 【名】棧(えつ  
り)。屋根の下地。
- ゆなか [junaka] 【名】夜中。
- ゆなぶぐ [junabugu] 【名】巻貝の一種。
- ゆぬむぬ [junumunu] 【形】同じ。
- ゆねん [junen] 【名】夜。
- ゆふくい [jufu:kui] 【動】休む。
- ゆふくい [jufu:kui] 【名】休息。〔例〕  
めま いめん なかゆふくいさー  
(今、ちょっと申休みしよう)。
- ゆふつたりい [jufu:ttari] 【名】四人。
- ゆほーだい\* 【名】盃台(平かで四角型)。
- ゆらしい\* 【名】ソーギのようで目の  
あらいもの。
- ゆんぐとう [juggutu] 【名】古謡。
- ゆんた [junta] 【名】ユンタ。古謡の  
一種。
- ゆんたく [juntaku] 【名】おしゃべり。
- ゆんねんちき [junnent:ki] 【名】夕方。
- ゆんぼん [jumbon] 【名】夜食。夕ご飯。〔例〕  
ゆんぼんにゃ めーだ はーのー  
(夕ご飯はまだ食べていない)。ゆ  
んぼんにゃ はいたー(夕ご飯は

食べた)。  
 よい[joi]【名】お祝い。  
 よーさ[jo:sa]【形】弱い。〔例〕かれー  
 よーさ(彼は弱い)。  
 よーつい[jo:tsi]【名】簪(かんざし)。  
 るくにん[rukunin]【名】六人。  
 るふくんがつい[rufu,kungatsi]【名】  
 六月。  
 わー[wa:]【名】あなた。〔例〕わーや  
 どうまはらどう おったねーらー  
 (あなたはどこからいらっしゃい  
 ましたか?)。  
 わざ[wadza]【名】わざ。〔例〕くぬ  
 わざ むついかさんどうら(この  
 技は難しい)。  
 ん<sub>[N]</sub>【助詞】～も。〔例〕みーさる  
 むぬん ふるさる むぬん むち  
 く(新しいものも古いものも持つ  
 てこい)。  
 んがさ[ngasa]【形】苦い。〔例〕くれー  
 んがさぬ(これは苦いね)。  
 んがざ[ngadza]【名】ムカデ。  
 んがまさ[ngamasa]【形】(騒音が)う  
 るさい。〔例〕[A] んがまさーり  
 き やどう ふじえ [B] おー  
 ふずん((音が)うるさいから戸を  
 閉めろ。はい、閉めます)。  
 んぎ[ngi]【名】棘。〔例〕んげー つい  
 かり ねーの(棘が刺さってし  
 まった)。  
 んすいから[nsi,kara]【名】三頭。  
 んだぶん[ndabun]【動】いじくる。  
 んでいるん[ndirun]【動】出る。〔例〕  
 んどうぬ(出ない)。  
 んなとう[nnatu]【名】川尻。河川が  
 海に注ぐあたり(=河口)。川の流  
 れが行く方向(=川下)。  
 んに[nni]【名】胸。  
 んに[nni]【名】棟。  
 んぬ[nnu]【名】蓑。  
 んぼん[mpon]【名】ご飯。

んま[mma]【名】馬。  
 んまぬ やー[mmanu ja:]【名】馬の家。  
 んまぬば[mmanupa]【名】午の方角。  
 んまぬばかじ[mmanupakaɕi]【名】午  
 の方風。  
 んー[N:]【名】六(むう)。数え上げる  
 時に使う。  
 んーから[ŋ:kara]【名】六頭。  
 んーつい[n:tsi]【名】六つ。  
 んーてい[n:ti]【名】六年。

## 『川平村の歴史』改訂に当たって

発行責任者 平成三二（令和元）年度川平公民館長 高嶺 善 伸

川平公民館は、絶版となって入手困難の『川平村の歴史』（昭和五一年川平公民館発行を、沖縄県文化振興会の「川平村の祭事を支える古謡等の保存と地域文化の継承に向けた環境整備事業」の補助事業を活用して改訂・再版することになった。

『川平村の歴史』改訂・編纂委員会を発足するに当たっては、地元から南風野喜一氏、大仲進氏、仲野英則氏、糸満英憲氏、初版発行責任者大底英正氏、平成三一年度公民館長の高嶺善伸、名桜大学の波照間永吉教授と沖縄県立芸術大学遠藤美奈准教授を編集実務者として加えて、八名に編纂委員をお願いした。

『川平村の歴史』の原本は、執筆された諸氏が当時の川平村の歴史や伝統行事について貴重な記録をしており、基本的に加筆・訂正をしないこととし、発行時に添付された正誤表に基づいて所要の改訂を行なった。但し、「凡例」で「表記は八重山出身の故文学博士宮良当壮先生の『八重山語彙』中の『八重山語音韻表』による」という方針が明記されていたので、原本中の川平方言の表記については、言語学的に整合性のとれた表記の統一等の整理の必要性があり、編纂委員会において全体的な体裁整理を含めて慎重に改訂作業を行った。また、目次の体裁や本文のレイアウトなど、形式的な整理を行った。旧版と比べて、わかりやすいものとなったと思います。祭祀行事に関する記述の中には、整理すべき課題も議論されたが、執筆者の原文を加筆・訂正等をしていない方針を堅持したため、今後の機会に期

待します。

今回の改訂に当たっては、追補編として昭和五〇（一九七五）年以降の川平公民館の重要事業の中から、「川平農村集落センター」の建設・移転改築事業や川平公民館が「農業生産法人有限会社川平農村振興会」を設立して真地原農地を保有した経緯と運営状況について記述した。更に、国立国語研究所による川平方言の取材依頼をいただいたので、大底英正氏、南風野喜一氏、大仲進氏の協力を得て八八四語の「川平方言」を同研究所のご配慮により収録した。

川平村は年間二六回の神事行事があり、『川平村の歴史』には祭祀行事等に謡われる「古謡」の記述はあるが音源がなく、継承が課題となっていたことから、故南風野英三氏が録音した「古謡」のカセットテープをCD化し、祭祀行事等に必要な古謡を謡えるように取り組んだ。川平村は古い伝統文化を大事にしており、産業も多様化し、移住者等人口も増加していることから「川平らしさ」を失わずに、永続的に地域が発展していくためにも『川平村の歴史』を指南書として、これからも活用される事を願うものである。

結びに、今回の『川平村の歴史』改訂・再版事業は、当公民館にとって不慣れな沖縄県補助事業で、（公財）沖縄県文化振興会のご支援と、編纂事業は専門知識が必要なため波照間永吉氏と遠藤美奈氏のご指導がなければ成し得なかつたし、国立国語研究所のご協力を得て「川平方言」を収録できたこと、地元編纂委員の献身的な協力をいただいたこと、挿し絵には平良優季氏のお力をかりたことと編集事業事務局を担当した南風野孝雄氏に対して深く感謝を申し上げます。

令和三年二月吉日



## 新版『川平村の歴史』編纂委員

(下段左から)

南風野喜一	昭和4年6月10日川平生まれ
大底 英正	昭和3年8月17日川平生まれ
大仲 進	昭和9年10月11日川平生まれ
波照間永吉	昭和25年8月11日石垣市登野城生まれ

(上段左から)

高嶺 善伸	昭和25年8月8日川平生まれ
糸満 英憲	昭和24年10月26日川平生まれ
仲野 英則	昭和22年12月17日川平生まれ
遠藤 美奈	

新版 川平村の歴史

頒価 三三〇〇円(税込)

初版 昭和五一年二月二五日 印刷

昭和五一年二月三〇日 発行

新版 令和三年二月二日

編集者 川平村の歴史編纂委員会

新版編集委員会  
発行者 川平公民館

新版印刷社 那覇市宮城一丁目十三一九

株式会社 国際印刷  
代表者 大田康之

令和二年度沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業  
支援 沖縄県、公益財団法人沖縄県文化振興会